

第2節 アンケート調査結果

(1) 調査の目的

障がい者、障がい児の生活実態・意識・意向等を調査・分析し、「いちき串木野市第4期障害者計画・第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画」の策定に向けた基礎情報を得ることを目的として、市内に居住する障害者手帳所持者を対象にアンケート調査を行いました。

① 調査期間

令和5年10月～11月

② 調査方法

郵送による配布・回収

③ 調査対象・配布件数・回収状況等

配布件数	回収件数	回収率
1,400件	640件	45.7%

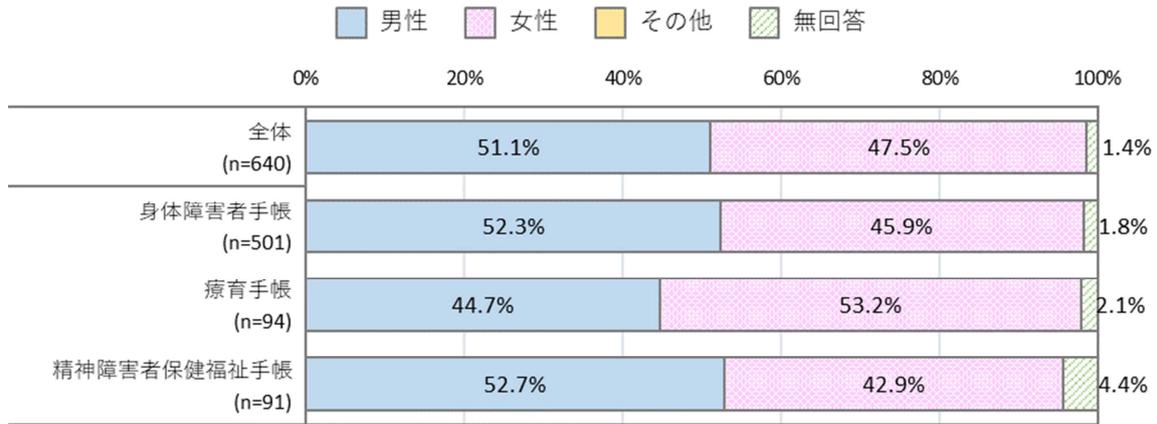
④ 集計上の留意点

- ・グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。
- ・集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が100%にならない場合があります。

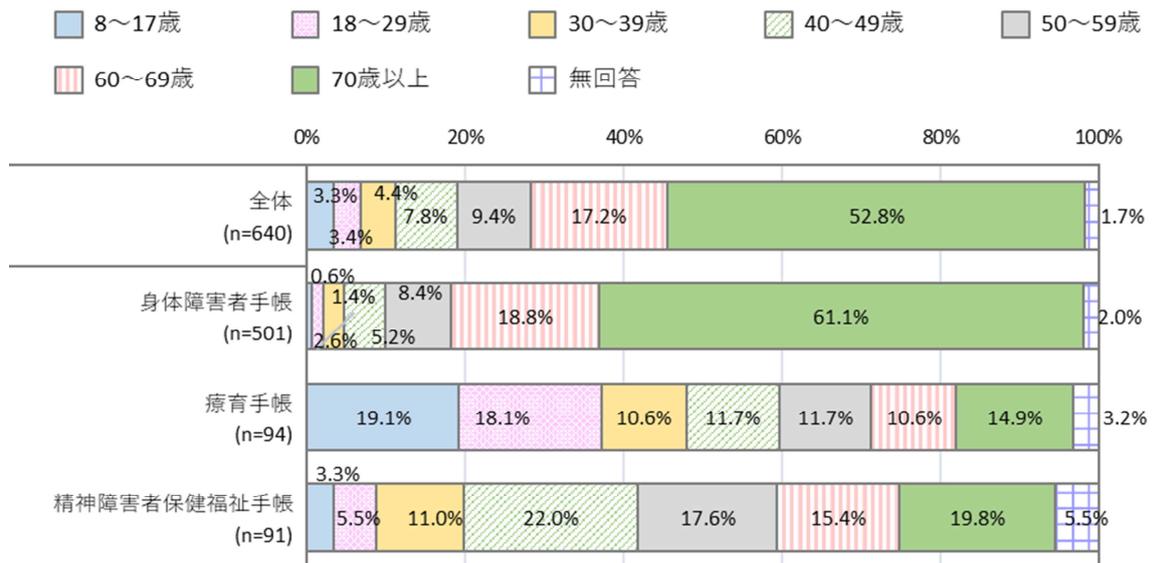
(2) 調査結果の概要

① あなた自身のことについて

ア) 性別



イ) 年齢

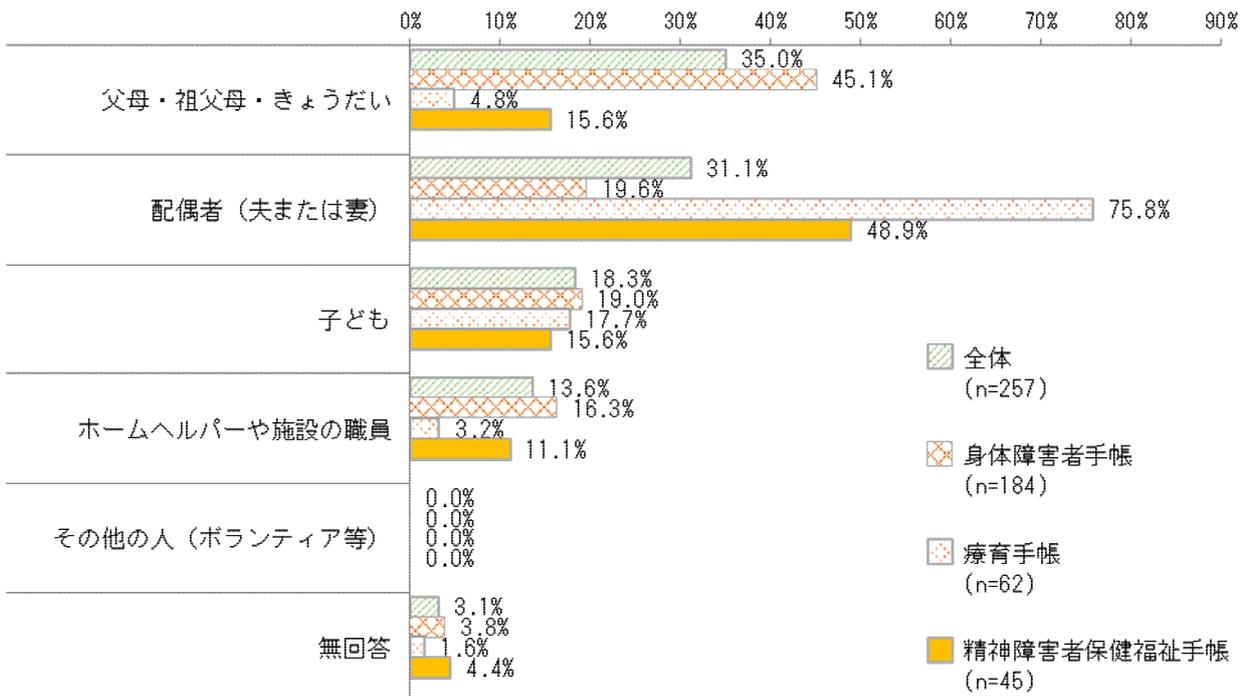
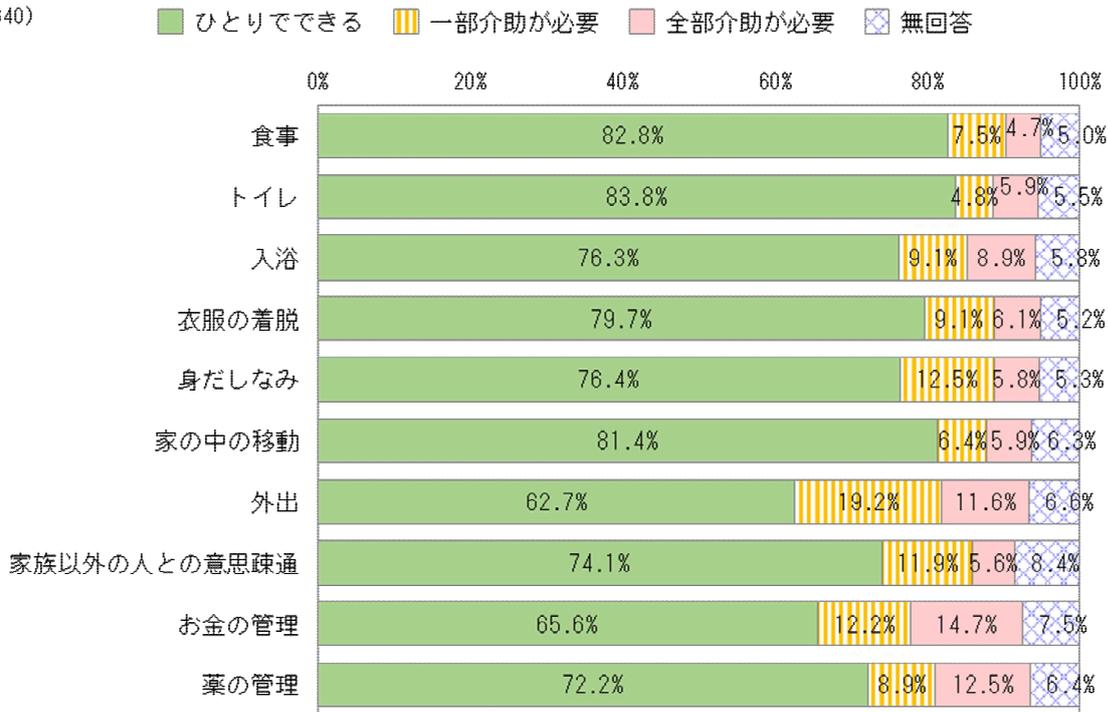


② 日常生活の状況

「ひとりでできる」が全ての項目で最も高くなっていますが、「外出」、「お金の管理」については、「ひとりでできる」が6割となっており、介助を必要としない障がい者が多い状況です。

また、日常生活で介助を必要とする障がい者の主な介助者は、「父母・祖父母・きょうだい」が35.0%と最も高く、次いで、「配偶者（夫または妻）」が31.1%、「子ども」が18.3%となっています。

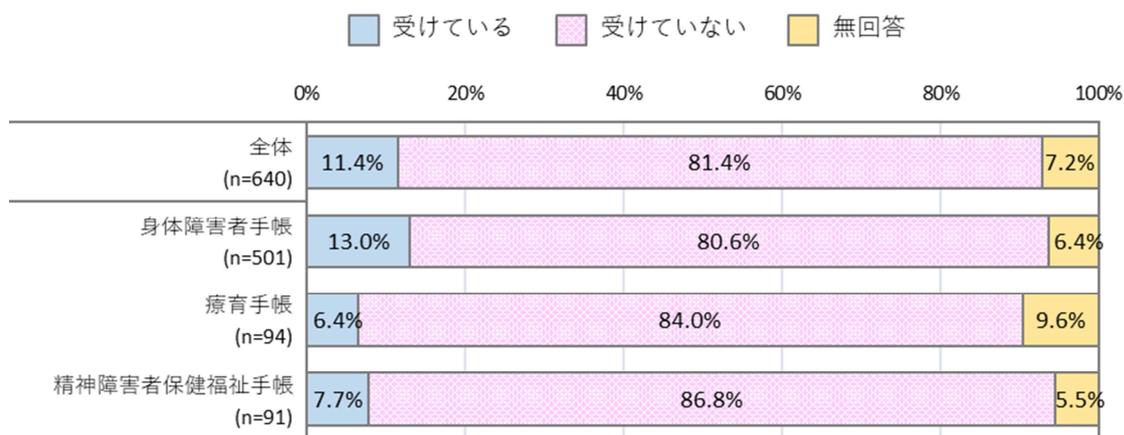
(n=640)



③ 障がいの状況

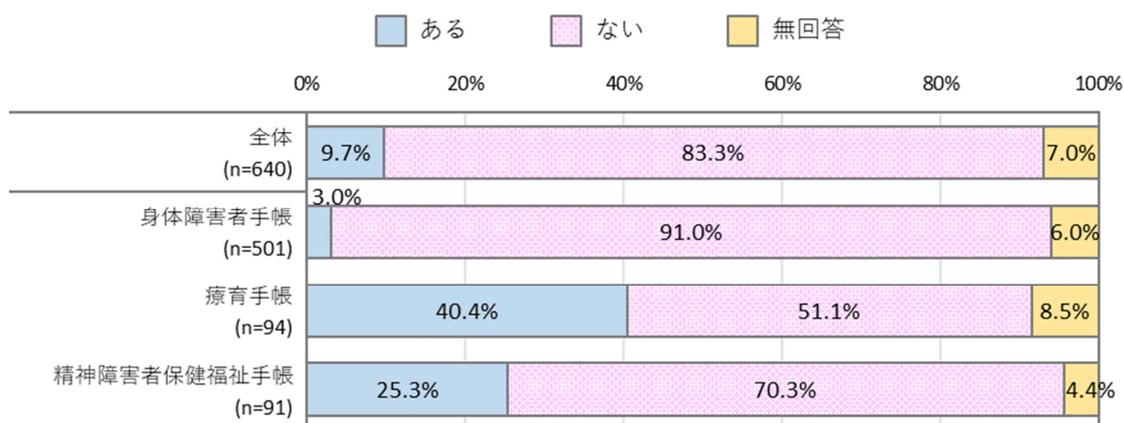
ア) 難病（特定疾患）の認定

「受けている」が11.4%、「受けていない」が81.4%となっています。



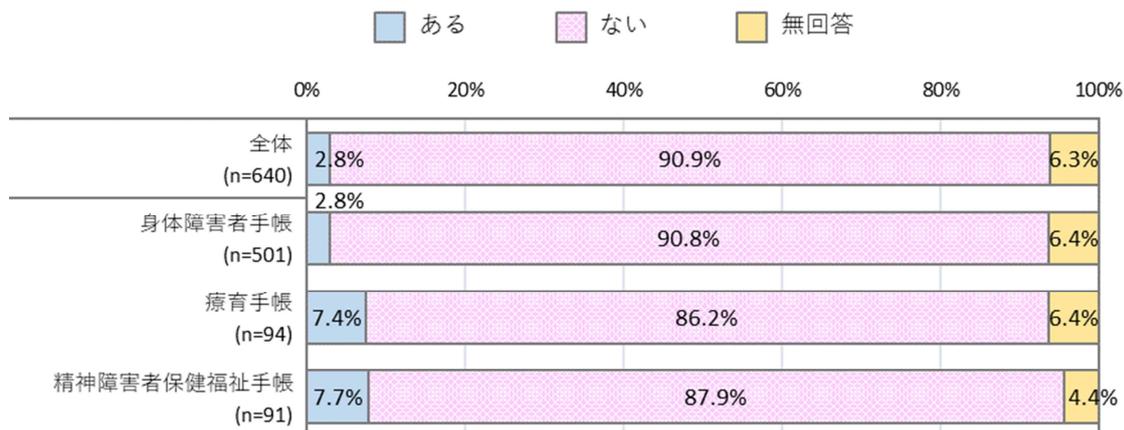
イ) 発達障がいと診断されたことの有無

「ある」が9.7%、「ない」が83.3%となっています。



ウ) 強度行動障がいと診断されたことの有無

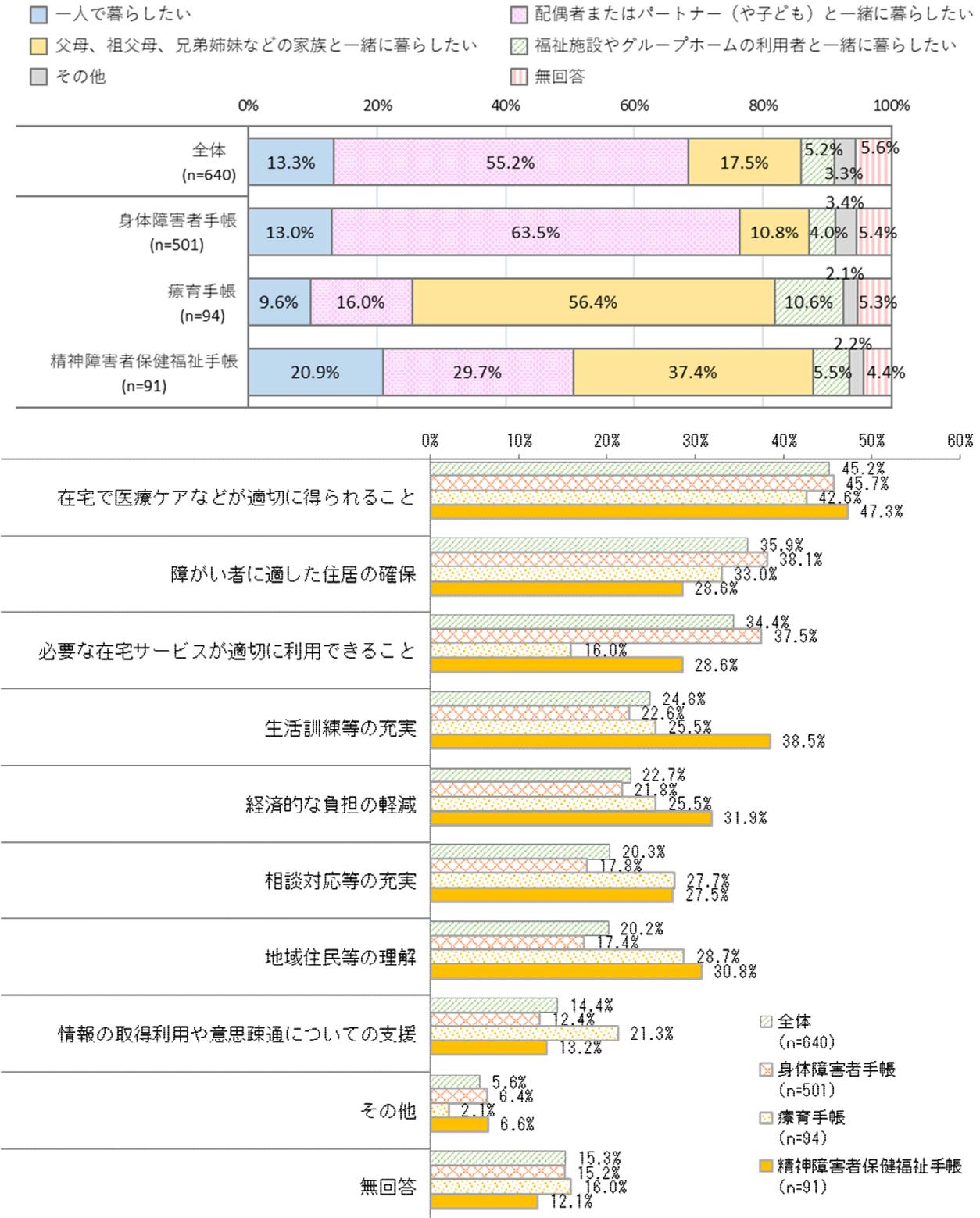
「ある」が2.8%、「ない」が90.9%となっています。



④ 居住の状況

今後3年以内の暮らしの希望については、「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」が55.2%と最も高く、次いで、「父母・祖父母・兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」が17.5%、「一人で暮らしたい」が13.3%となっています。

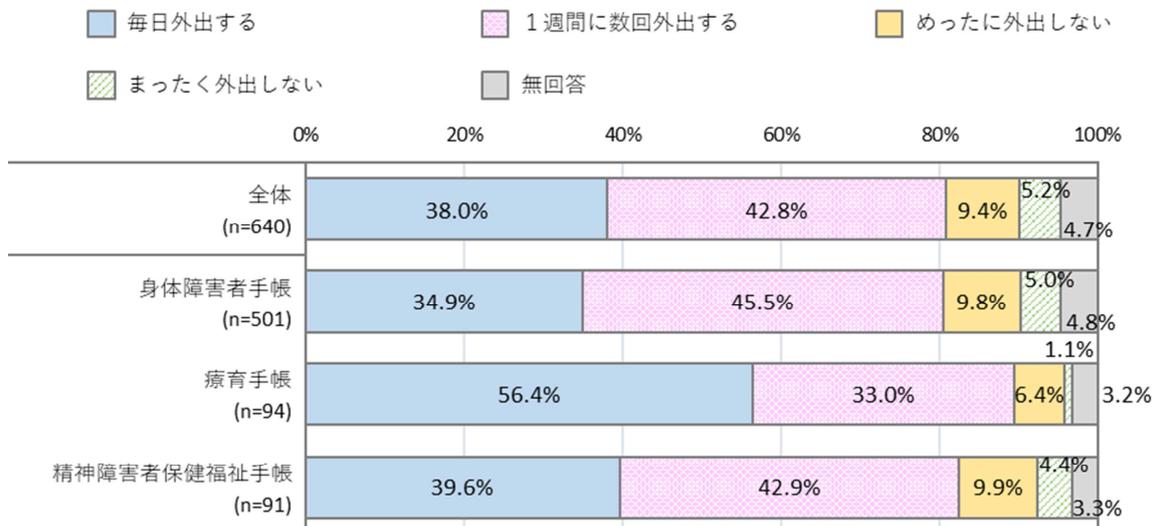
また、地域で生活するために必要だと思う支援については、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」が45.2%と最も高く、次いで、「障がい者に適した住居の確保」が35.9%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が34.4%となっています。



⑤ 外出について

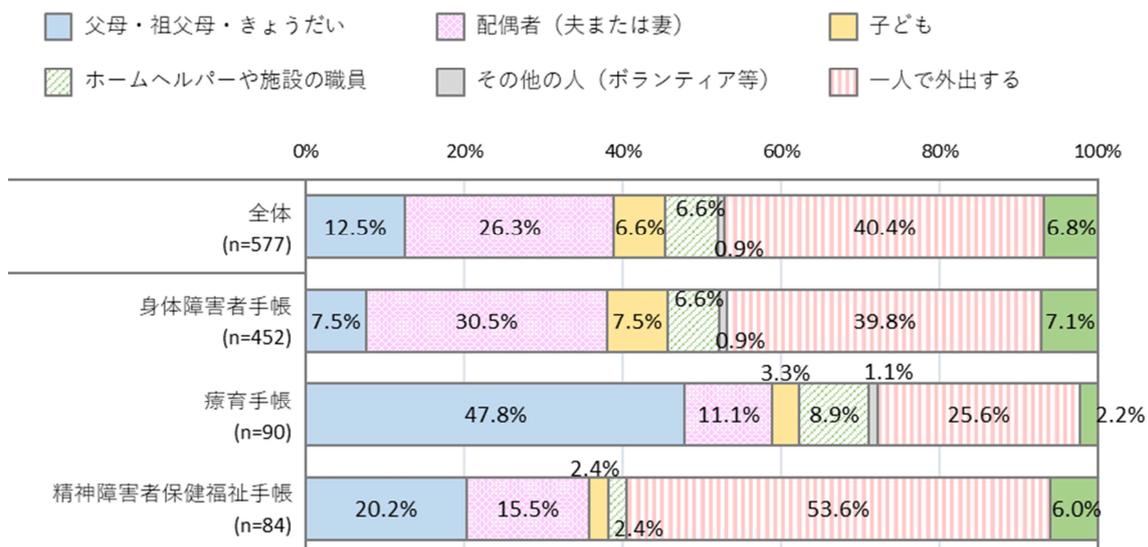
ア) 外出頻度

「1週間に数回外出する」が42.8%と最も高く、次いで、「毎日外出する」が38.0%、「めったに外出しない」が9.4%となっています。



イ) 外出する際の同伴者

「一人で外出する」が40.4%と最も高く、次いで、「配偶者（夫または妻）」が26.3%、「父母・祖父母・きょうだい」12.5%となっています。



ウ) 外出する時に困ること

「買い物に行く」が70.7%と最も高く、次いで、「医療機関への受診」が62.0%、「通勤・通学・通所」が29.3%となっています。

